

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0190501429), 法人名 (社会医療法人共栄会), 事業所名 (グループホームまいホーム川北二番館 3階), 所在地 (北海道札幌市白石区川北1条3丁目7-18), 自己評価作成日 (平成30年1月), 評価結果市町村受理日 (平成30年3月27日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「そこにいるだけで癒される環境をめざして」の理念に掲げている事を常に念頭におき、一人一人のその人らしさを大切に毎日を送れるように支援しています。決まった事をするのではなく、何がしたいのかどうしたら出来るのか等を利用者様が自分で決められて想いが叶う為に、寄り添ったり、行動したり、方向性を一緒に考えたりと、認知症だから出来ないのではなく、足りない部分を補っていくお互いを必要とする関係性を築いています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou\_detail\_2017\_02\_2\_kihon=true&JigyosyoCd=0190501429-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (平成30年2月27日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

(Empty box for external evaluation comments)

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	居間の見やすい場所に理念を掲示し、いつでも見る事ができる。 職員や管理者共に共有し意識して実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、ゴミ拾いやお祭りなどの地域の行事に参加し交流を図っている。近隣の散歩時など自然に挨拶を交わし会話をしたり地域に馴染むよう心掛けている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で包括の方、町内会の方々を交え情報発信を行う場を設けている。また、相談や見学はいつでも応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度開催しご家族、利用者様、地域住民、包括の方々に参加して頂きホームの状況や取り組み、報告などを行っている。そこでの意見をカンファレンスで報告し共有している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターの職員とは運営推進会議の場で情報交換をおこなっている。役所の担当者とは、主に管理者が連絡や協力体制をとれる関係性を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	建物の周辺は交通量が非常に多く、安全面を考慮1階玄関はオートロックになっている。各ユニットの玄関は夜間、早朝は防犯対策として施錠している。全職員が身体拘束について理解しており拘束はしていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加したり職員は虐待についての理解はできている。日頃の声かけや言葉かけには十分注意しており、気づいた事には申し送りやカンファレンスの中で話し合う機会を持ち虐待防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会には参加し職員の理解が深まるよう努めているが、制度を利用している利用者は現在いない。 必要時にはいつでも支援を行えるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項の説明やご本人、ご家族様の不安な事や疑問点等は出来る限る伺い解決できるような説明を行い理解を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1階共用玄関に意見箱を設置している。 外部の相談窓口の連絡先も掲示している。 ご家族様の来所時やケアプラン作成の時にも要望等を伺うよう努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者はリーダー会議やカンファレンスに同席し職員の意見や提案を傾聴されている。 また、職員間の意見等は随時管理者に話せる環境になっている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状況については管理者が把握し代表者へ報告されている。 管理者は職員が向上心を持って働けるよう職場環境の不安事などに耳を傾けコミュニケーションをとって下さっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での研修は定期的に行われ可能な限り参加している。外部研修に関しては職員のレベルに応じた研修の機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部の同業者との意見交換や交流の機会は少ない。その為相互訪問は行えていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に面談を行い時間をかけて話し合い困り事や不安な事がないか聞き取りをしている。出来る限り不安要素が取り除けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様に対しても要望や心配事などをしっかりと伺い不安を軽減できるように関わりや関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や家族様の要望や状況をふまえ、その時必要とするサービスが対応可能かどうか見極めたうえでサービスの開始をしている。他のサービス利用についても同様に対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として、尊敬の気持ちを忘れずに接している。過ごしている中で教えて頂いたり一緒に行ったりと助け合いながら共に暮らしている同士の関係性が出来ている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	出来る限り、様子を伝える連絡を行ったり決め事には必ず意見を伺ったりと支え合う協力体制を築いている。毎月のお便りも送付したりレクへのお誘いも行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人様との面会は自由に行っている。外出、外泊も同様。希望があれば、電話や手紙のやりとりも出来るので関係性が継続できるように支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性や関係性を把握し良い関わりが出来る様、必要時には介入し対応している。自室で過ごすことを好む入居者様もいる為状況を見て声かけや見守りを行いストレスをためない様な支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後の生活もご家族様もご本人様も困る事がないように支援している。転移先の施設や病院の連絡調整や情報提供などの継続的な関わりを持っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の言葉を大切に、希望や思いをくみ取り出来る限りの意向の把握に努めている。困難な状況時は、ご家族様に聞き取りをしたりその人らしさは何かを考えケアに繋げている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報提供やご家族様からの情報から、わかる範囲の生活歴、馴染みの暮らし方を把握したり、情報を基にご本人からの聞き取りで把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の中で体調や様子を確認し、その状況に合った過ごし方を提供したり申し送りの中でアセスメントを行い有する力の表現の仕方などを検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスで入居者の状況を確認しあい、課題については検討している。ご本人、ご家族、デイケアやかかりつけ医とも相談や意見を頂き介護計画に反映させている。計画の見直し時は担当職員とケアマネが評価を行い現状に副った計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご本人の様子や対応したケアの実践等を毎日のケース記録に記入し常に情報共有をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズには決まったサービスに捉われないように職員がアイデアを出し合いながら柔軟に対応するよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に参加したり、運営推進会議で地域資源の確認をしそれぞれの能力や心身の状況に応じた支援を把握し支援できる様努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	とくに希望がなければ同一法人であるトロイカ病院がかかりつけ医となり定期的に受診している。専門医療が必要な場合は、ご本人や家族の意向を踏まえ専門病院への受診を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師であり、毎日状態を報告している。特変があれば、すぐに連絡、相談を指示を仰いでいる。同一法人の訪問看護も受けており医療的支援も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には入院先の病院へ情報提供を行い入院先からは、病状、経過を伺い早期の退院が出来る様に連携をとっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化、終末期のあり方については、入居の際にご本人、ご家族様と話し合い又、状況が変化した時々にも相談しホームで出来る事出来ない事を明確にし度理解をして頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に救命救急の講習会に参加している。AEDの設置や緊急時連絡網やマニュアルを掲示し緊急時に備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に数回入居者様の参加した避難訓練を行っている。様々な想定で近隣住民に協力して頂く訓練も行っている。災害に備えた非常時の食料や水、物品を常に点検し災害時に備えている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人的な事に関しては出来るだけ個々での対応をプライバシーが漏れないように対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定の出来る方には生活の会話等の中から希望や思いをくみ取る様に努めている。自己決定が難しい方には分かりやすい選択肢を提示し決められるように働きかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の大まかな流れは決まっているが、どう過ごしたいかはご本人の希望やペースに合わせ対応している。入浴や活動などもその時の体調や気分にあわせ対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあわせたご本人の服装が出来る様アドバイスをしたり、援助している。出来るだけご本人に決めて頂き押し付けにならないような声かけをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	能力に応じて準備や片づけを一緒に行っている。献立を立てる時には利用者の食べたいもの、食べられる物を考えて立てている。食べられない物がある時は必ず代替品をお出しするようにしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量、水分量は毎日記録し不足している時には利用者の摂取しやすい物を準備しておきいつでも提供できるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを行い、自立している方には促した後見守りし、介助の必要な方には出来る事はして頂き、最後に介助を行うように支援している。就寝時には義歯洗浄剤を使用し清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録を行い、それぞれの排泄パターンが把握できるように努めている。パットやリハビリパンツの使用は夜間・日中など使い分けをし自立した排泄が出来るだけ長く保てるよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳酸飲料や果物等を取り入れて水分量の補充をしている。食事提供には繊維質を多く摂り入れた献立を意識して作成している。廊下歩行は歩ける方には促し、体操は毎日行う事で適度な運動量を確保している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴予定を組んでいるが希望があれば入浴できる環境に努めている。入浴時間は日中が主となっているが、状況に応じて夕方の入浴も行っている。同性介助にも対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況に応じて休息をして頂いている。居間の消灯時間は21時ですが、居室での時間は決まりがないので自由に過ごして頂き不安なく休めるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をファイルしいつでも確認出来る様にしている。薬の変更時は、必ず周知出来る様に管理日誌に記入し、申し送り時に再度確認をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常的な作業や役割の定着を行っており、共に生活しているという充実感を持って頂けるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の身体状況の低下もあり、遠出の外出が減っている。天気の良い日の散歩や近間のショッピングは出来る限り行っている。又、ユニット合同で普段いけない所に数回に分かれて出かけられるように支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いの管理はホームで行っているが、買い物時には、利用者の能力に応じて財布をお渡しし、お金を使える環境を提供している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由にして頂いている。手紙、電話等は希望時には応じて支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレには分かりやすいように表示し、廊下灯は時間によって明るさを変えている。乾燥時期には加湿器を置き湿度の調整等を行っている。掃除は毎日行い利用者と共に清潔環境を作っている。居間には季節事に利用者と一緒に作った作品を飾り、中央のボードには写真を貼り皆で囲んでできる環境を作っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファー席と食事席の限られた空間ですが、それぞれ、思い思いに過ごされている。仲のよい利用者様同士は自然と一緒に過ごされていたり一人がお好きな利用者様には状況に応じて職員が介入する様にしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた物や昔から使用している家具などを持参して頂いている。入居後に必要になった物についてはご本人や家族様と相談をし購入し、居心地よく過ごせる居室作りをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室には表札、トイレには目印をつけて分かりやすいようにしている。毎日環境整備を行い転倒に繋がるものがないかを確認し配慮している。		